

## 2020 年度第 1 回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会（メール会議） 議事録

審議方法：2021 年 1 月 29 日（金）～2 月 4 日（木）、メール添付にて資料を送付し、意見がある場合は本会雑誌編集委員会へメールにて連絡することにした。期日までに意見の無い場合は、記載内容について各編集委員が承認したものとみなした。

出席者（メール会議参加者）：

[本会雑誌編集委員会編集委員長] 藤田道郎（日本獣医生命科学大学）

[本会雑誌編集委員会編集委員] 皆上大吾（東京農工大学）、浅野和之（日本大学）、

賀川由美子（病理組織検査ノースラボ）、鈴木 学（株式会社サップス）、

瀬戸口明日香（JASMINE どうぶつ総合医療センター）、高木 哲（麻布大学）、

高橋 雅（鹿児島大学）、中山智宏（日本大学）、日高勇一（宮崎大学）、

細谷謙次（北海道大学）、圓尾拓也（麻布大学附属動物病院）※五十音順・敬称略

### 1. 審議事項

(1) 古い論文に対する対応について：

(ア) (イ) について本会雑誌の推進施策として実施することが提案され、

(ア) (イ) が承認された。

(ア) 2018 年度未満の論文において、筆頭著者あるいはコレスポンドイングオーサーとのやり取りが 1 年以上止まっている論文については、再度、編集より連絡する。

2021 年 3 月末日までに返事のない場合は、本会雑誌編集委員会の判断として自動的に投稿論文の取り下げ措置を実施する。

(イ) 但し、(ア) の取り下げ措置の実施は、やり取りが止まっている理由が、筆頭著者あるいはコレスポンドイングオーサー側にある場合に限る。

補足：2018 年度未満とは 2015 年～2017 年に投稿された示す。

### 2. 報告事項

(1) 昨年（2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）の発行状況について：

Vol. 9No. 1 を発行

(2) 現在の査読状況について※2021 年 1 月 28 日の状況：

(ア) 原著：審査中論文は、

2016 年 2 本

(イ) 短報：審査中論文は、  
2015年3本、2016年1本、2017年12本、  
2018年1本、2019年1本、2020年3本、2021年2本

(3) その他：

以下(ア)(イ)が提案された。

(ア) 今後の投稿論文に対しては、修正期限を設定する。修正期限を過ぎた場合は、論文取り下げの扱いになることを明確に通達する。

(イ) 投稿者側が、担当の査読者が特定できないように充分留意したうえで、メイン査読者が査読状況を把握できるようにする。

3. 次回編集委員会 開催予定

日時：2021年中

審議方法：未定

未定

以上。

(文責者：藤田道郎)